

令和5年度 第3回川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会 次第

日 時 令和5年10月11日（水） 午前10時00分～

場 所 麻生区役所4階 第4会議室

次 第

- 1 開会
- 2 館長挨拶
- 3 議事
 - (1) 令和5年度事業進捗状況について
 - (2) 令和4・5年度報告書（案）について
一箱古本市の実施結果報告
 - (3) その他

次回の予定

第4回 令和6年2月17日（土）

（第4回には専門部会内で市民自主企画提案会・選考委員会を開催いたします。詳細については別途ご案内いたしますので、この日程でご予定くださいますようお願い申し上げます。）

令和5年度 麻生市民館 社会教育振興事業 実施状況

(令和5年10月11日現在)

領域	事業名	事業内容	事業数 (当初予算)	実施状況												事業実施状況	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
1 共生推進学習事業	識字学習活動	川崎市多文化共生社会推進指針、外国人教育基本方針、川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につけるための学習を支援する。また、学習者と支援者（ボランティア）が共に学び合う関係づくりに配慮し、多文化共生社会の実現をめざす。	千円 2 (455)				午前コース 木曜 夜間コース 木曜	5月～3月（4月、8月を除く）									
	識字ボランティア研修	川崎市識字・日本語学習活動の指針に基づき、識字学習活動に関わるボランティア等の資質向上に関する学習機会を提供することにより、多文化共生社会の実現をめざす。	1 (39)				識字ブラッシュアップ研修 (午前2回(第1回は6月29日17名参加、第2回は2月)・夜1回(12月))										
	障がい者社会参加学習活動	地域での体験活動や交流等の学習機会を提供することを通して、障がいのある人の社会参加促進を図るとともに、ノーマライゼーションの理念に基づき、共に生きる地域社会の実現をめざす。	1 (173)				「麻生青年教室」 第3日曜	5月～3月（4月、8月を除く）									
2 市民自治基礎学習事業	普遍的課題学習	平和・人権・男女平等推進学習 憲法、教育基本法の理念に基づき、世界の平和及び人権の尊重、性による差別や人権に関する問題解決に向けた学習機会を提供し、共に生きる地域社会の創造や男女共同参画社会の形成を目指す。	2 (121)					新聞・報道から考える～メディアへの向き合い方～(平和人権) 10月14日～11月18日 全5回									
	世代別学習活動	青少年教室事業 小学生・中学生・高校生等を対象として、青少年期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (66)														今年度予定なし
	成人教室事業	成人層を対象として、成人期の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供するとともに、地域の中での仲間づくり、つながりづくりを促進する。	1 (66)					あさおー箱古本市 9月2日事前説明会、9月16日 出店 全2回									成人教室事業は、本講座と「布のえほん作り講座」を実施。
	シニアの社会参加支援事業	シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援する。	1 (66)											タイトル未定 1月～3月 全5回			
	高齢者セミナー	高齢期の課題解決に向けた学習機会を提供する。また、学習を通じた、生きがいづくりや健康づくりを促進するとともに、幸福な高齢期をおくるための支援をする。	1 (66)											認知症に備え、充実した高齢期を目指そう！ 11月10日～12月8日 全5回			
	子育て・共育学習活動	家庭・地域教育学級 子どもを豊かに育む地域社会の創造をめざし、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	1 (135)					7月5日～10月11日（8月を除く） 「Happy! ママライフ」水曜(全10回)									
	市民館保育活動	親等の学習活動への参加を促進し、乳幼児の社会的成長を支援するために、主催事業に適宜併設する形で保育活動を実施する。	3 (119)					7月～3月									
	保育ボランティア研修	子育てを支援する保育ボランティア等の資質の向上に向けた学習機会を提供することにより、地域で支え合う子育ての環境醸成を図る。	1 (22)											保育ボランティア研修 11月28日～12月19日 全5回			
P T A 家庭教育学級講師派遣	子どもの理解や親の役割及び家庭環境、家庭教育に関する地域における諸課題等についてP T Aが実施する家庭教育学級に対し、講師派遣等の支援を行うことにより、子どもの健全な育成に向けた、学校・家庭・地域の連携による学習活動の振興を図る。	1 (-)											7月～1月（各小中学校P T Aの計画により実施）				
子育て支援啓発事業	地域における身近な子育て関連情報を保護者等に幅広く提供するために、子育て情報冊子等の作成・配布や、保護者同士の交流を図るための集会等の開催を行う。	1 (48)											「子育てフリースペースよち・わく・のび」 4月～3月（火、金）				

領域	事業名	事業内容	事業数 (当初予算)	実施計画												
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
6 市民館学習環境整備	社会教育委員会議 麻生市民館専門部会	川崎市社会教育委員会議規則に基づいて行う。	1 (-)	第1回 5月17日		第2回 8月2日		第3回 10月11日		第4回 2月17日						
	刊行・広報活動	(1) 教文・市民館活動報告書、学習記録や調査研究報告書の作成を行い、学習活動や地域情報の蓄積と公開を図る。 (2) 生涯学習に関する情報を提供するため、市民館だより、ホームページなどの作成を行う。	1 (594)	市民館だより 年6回(6月・8月・10月・12月・2月・4月) ホームページ 通年 4~6月 R4活動報告書作成 11月~ R5活動報告書作成準備												R5の活動報告書は麻生がとりまとめ館
	情報機器等整備	総合教育センター視聴覚センターの市民への直接的な窓口として、教文・市民館で情報機器等の貸し出しを行う。	1 (-)	通年												
市制100周年 記念プロジェクト事業	絵本づくり講座	絵本づくりのワークショップを通して、令和6年に100周年を迎える川崎に関心を持ち、地域の魅力や自分を絵本を使って表現できる人材を育て、発表することで地域の交流を深める。	1 (150)	布のえほん作り講座 9月30日~11月18日 全5回 参加者数20名												成人教室事業として実施

■生涯学習支援課の事業

事業名	事業内容	事業数 (当初予算)	実施計画												事業実施状況	
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
麻生区生涯学習推進会議	川崎市生涯学習推進計画および麻生区生涯学習推進計画に基づき、麻生区生涯学習推進会議を設置し、区における生涯学習推進体制の整備や生涯学習事業の連絡調整を行い、麻生区の生涯学習を推進する。	千円 1 (-)	議題状況にあわせ、年度内の実施を検討													
麻生区課題対応学習事業	里地・里山保全推進事業	麻生区及び周辺地域の里地・里山保全活動を通し、自然や暮らしの歴史、文化等を継承し、次世代へつなぐための様々な活動を展開する。	1 (844)	カフェ塾・人材育成講座ほか 2月頃 2024里山フォーラム in麻生												
	麻生区多文化共生推進事業	川崎市多文化共生社会推進指針に基づき、地域の人的資源を活かしながら、異なる文化的、歴史的背景を持つ市民の人権が守られる感性豊かな地域、国際的な視点を持ったまちづくりをめざす。	1 (340)	第1回9月子育てフェスタ出店(参加者321名) 第2回1月or3月												

令和5年度 麻生市民館 工事等の実施計画

(令和5年10月11日現在)

工事名	内容	予算	実施計画												事業実施状況
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
麻生市民館照明LED化工事	照明器具をLED化する工事。ESCO事業として実施。		令和6年4月1日からサービス開始予定												10月6日業者と打合せ 環境局の補助金手続きが 済み次第契約予定
麻生市民館高架水槽更新設計業務	高架水槽 更新についての設計業務		令和6年度 1月20日から工事予定												
麻生市民館空調設備更新設計業務	空調制御システム、空調ダクト防火ダンパー更新についての設計業務		令和6年度に更新予定												

令和5年度 麻生市民館岡上分館 社会教育振興事業実施計画

(令和5年10月11日現在)

領域	事業名	事業内容	事業数 (予算)	実施計画												事業実施状況
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2 市民自治協議会等 事業	子育て・共育学習活動 家庭・地域教育学級	子どもを豊かに育む地域社会の創造を目指し、子育てに関する家庭・地域課題の学習機会を提供し、親として市民としての学びを支援する。	1 (123)						「ともそだち～子育ての、ちょっと先を見通そう」 10/6～12/1 (全5回) 参加者数：6名						子の成長に伴う困りごとや自身の未来像に思いをめぐらせてみるなど、ちょっと先のことについて考える機会にする。 対象：6か月～2歳の子を持つ親	
3 市民学習・市民活動活性化学習事業	市民自主企画事業	地域や社会の課題解決や地域の特性に応じた生涯学習・文化芸術の振興や、市民活動のネットワーク化の活性化等を目的として、集会、講演会等多様な形態の学習事業を市民と市民館が協働で実施する。	2 (100)						「ポッチャを通じたコミュニティづくり」7/22・8/19 7/22 参加者数：19名、8/19 参加者数：22名						誰もが一緒に楽しめるスポーツであることを知り、地域のコミュニティにつなげる。	
															家にこもりがちな状況から外に出る機会をつくり、親子ともに気分転換をすることで前へ進むきっかけとなる場をつくる。 定員：各回20名	
	市民エンパワーメント研修	市民活動・ボランティア活動に関する学習機会を提供することにより、市民自らが考えながら生活・地域課題等に取り組みができるように、市民主体の地域づくりを支援する。	1 (87)						「カイコを通して学ぶ 岡上の歴史」 6/4～7/2 (全5回) 延べ参加者数：110名						地域で盛んだった養蚕から歴史を学び、地域への理解を深めるとともに、体験活動を通して地域への関心や参加者同士の交流にもつなげる。	
生涯学習交流集会	いきいきとした岡上分館を拠点とした社会教育の展開に向けた、意見交換や成果発表などの交流を通して、市民が主体的に学ぶ地域の生涯学習環境の醸成を図る。	1 (20)												3月予定		
学習情報提供・学習相談事業	市民の主体的な学習活動・市民活動の支援策の一環として、様々な学習情報・市民活動情報を収集・整理し、適切な形で公開・提供する。また、求めに応じ、市民及び市民グループなどの生涯学習に関する相談に対し、情報提供、助言を行う。	1 (1)		通 年												
5 対応学習事業 現代の課題	シニアの社会参加支援事業 (入門コース)	シニア世代等を対象として、地域の課題解決あるいは地域参加に向けた学習機会を提供し、シニア世代等の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるように支援する。	1 (87)						「カリンバを弾こう」 10/3～10/31 (全5回) 参加者数：15名						カリンバを通して地域活動や仲間づくりにつなげていくことを目的に実施する。 対象：概ね50歳以上の方を対象	
100周年 記念事業	絵本づくり講座	絵本づくりのワークショップを通して、令和6年に100周年を迎える川崎に関心を持ち、地域の魅力や自分を絵本を使って表現できる人材を育て、発表することで地域の交流を深める。	1 (150)						「民話から歴史を学び絵や物語で伝える」 11/10～1/12 (全5回)						地域にまつわる「民話」を紐解き、そこから歴史を知る面白さを知り、絵で表現する。 定員：20名 10/17～参加申込受付	

令和 4 ・ 5 年度

報告書

市民館の利用促進に向けた
取り組みについて

令和 6 （ 2 0 2 4 ） 年 3 月

川崎市社会教育委員会議 麻生市民館専門部会

令和4・5年度

川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会報告書
市民館の利用促進に向けた取り組みについて

目次

はじめに（報告書作成にあたって）・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

1 麻生市民館専門部会実施経過・・・・・・・・・・・・・・・・ P

2 あさお一箱古本市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P

3 あさお一箱古本市実施結果・考察・・・・・・・・・・・・・・・・ P

4 今後の展開について・・・・・・・・・・・・・・・・ P

終わりに・・・・・・・・・・・・・・・・ P

編集後記

【資料編】

目次

あさお一箱古本市出店者募集チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・ P

あさお一箱古本市開催チラシ・・・・・・・・・・・・・・・・ P

あさお一箱古本市出店者マニュアル・・・・・・・・・・・・・・・・ P

あさお一箱古本市お客さん及び出店者アンケート様式・・・・・・・・ P

麻生市民館専門部会委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・ P

麻生市民館専門部会実施経過・・・・・・・・・・・・・・・・ P

麻生市民館専門部会勉強会について・・・・・・・・・・・・・・・・ P

麻生市民館専門部会では、市民館利用促進に向けた「麻生文化センター中庭スペースの有効活用事業」の一環として、あさお一箱古本市を開催した

本稿では、麻生市民館専門部会実施経過、あさお一箱古本市の概要、あさお一箱古本市実施結果・考察、今後の展開について述べる。

1 麻生市民館専門部会実施経過

令和4年度においては、第1回専門部会において次回の部会にて令和4・5年度協議テーマを提示することとし、第2回専門部会において、市民館利用促進に向けた取り組みとして2つのテーマ(「テーマ1: 空き会議室の有効活用について、事業例: (仮)麻生市民館学習フリースペース試行事業について(案)」及び「テーマ2: 麻生文化センター中庭スペースの有効活用について、事業例: (仮)麻生文化センター「一箱古本市」の開催について(案)」)を事務局から提案した。第3回専門部会においては、委員からの御意見を踏まえながら、一箱古本市(読み終わった本、誰かにおススメしたい本を段ボール等の一箱につめ、1日だけの本屋さんになってフリーマーケット形式で販売するイベント)開催を決定した。

令和5年度においては、第1回専門部会において、一箱古本市の実施目的、実施日時・場所、募集数・応募資格などの実施内容及び課題について整理した。第2回専門部会においては、出店者向けのマニュアル案及び出店者・お客さん向けアンケート案を整理した。第3回専門部会においては、一箱古本市の実施結果及び報告書(素案)を提示し、第4回専門部会において報告書(案)を提示した。

なお、令和4年度第2回専門部会において提案した「一箱古本市」ともう一つの「(仮)麻生市民館学習フリースペース試行事業について(案)」については、会議室での展開とはならなかったが、市民館内のウォールギャラリー横のスペースで実現した。具体的な取組内容について、本章末尾で取り上げる。

(1) 令和4年度専門部会

① 令和4年度第1回

「今後市民館・図書館のあり方」や、参考資料の協議テーマについて、委員からの御意見を踏まえながら、第2回専門部会において、市民館から令和4・5年度協議テーマを提示することとした。

② 令和4年度第2回

今回の開催場所である麻生文化センター中庭スペースについては、屋根もあり、一定程度のスペースもあるいが有効活用されていない実状があった。そこで、区役所の中庭が令和5年3月にリニューアルされることを契機としながら、このスペースの有効活用を図るとの提案を行った。

具体的には、コミュニケーション・つながりづくり、空きスペースの有効活用、麻生市民館事業の周知・情報提供を目的として、一箱古本市の開催や、図書館リサイクル本の出店も検討することとした。

今後の検討課題としては、1店舗あたりの出店スペースの想定、現金の授受の可否、販売物の内容、他都市の実施状況の調査・ヒアリングに実施があがった。

③令和4年度第3回

第2回の専門部会を踏まえ委員から御意見を募り、中庭スペースの有効活用事業の一箱古本市については、次のような御意見を頂戴した。

先日、図書館側に10人くらいが寒いところで並んでいました。活用を考えていただくとよいと思います。

この提案にも基本的に賛同します。”読書のまち”を掲げる川崎市の取り組みにこうした活動が加わることはプラス効果になるといいます。営利目的に傾かない、また、他の目的で訪れる人の支障にならないようなものにしたいものです。

「市民館職員」だけの運営ではなく、「図書館の方々」、「子ども達の相手の活動をしている市民団体」、「子育て中の親」等々の共同計画による運営が望まれます。連携する団体を幅広く考えることが大事です。「中庭スペース」しかり「市民館事務所下のステージ」ですが、暗い。この暗さを解決するには、使用方法により明るくするライトを。スイッチは目立たない所に別づくり。

これまで有効に活用されていなかったスペースですので、専門部会として、活用を考えるというのは良いと思います。合わせて、まちのひろば(コミュニティ施策)、図書館との連携で、事業を拡げ、協働して行うことで、今後の市民館の活性化につながると感じます。

一箱古本市のアイデアはとてもいいと思う。定期的で開催すると、「読書のまち・かわさき」運動も盛り上げられます。図書館関係者のお話を聞き、かつ、各地の事例調査をして、近隣の大学図書館司書課程の学生なども関係してもらって運営主体をつくることのできるのではないかといいのではないか。また、古本市が面白いと思っている参加者も運営主体にかかわってもらえるよう呼びかけたり、その方が居住地などで一箱古本市をしてもらえるようになると思います。開催が積み重なれば、図書館・市民館連携イベントなども可能になりそうである。

以上の委員の御意見を踏まえながら、次のとおり市民館の考え方を提示した。

(中庭スペースの有効活用については) ご意見でございますとおり、「読書のまち・かわさき」や市民館・図書館連携などのを踏まえながら、コミュニティ活性化の観点から進めていく必要があると考えております。

「一箱古本市」につきましては、基本的に、民間団体が主催する事例が多くなっております。昨年 11 月に実施した岸和田市立図書館(市直営施設)(別紙 2) にヒアリングしたところ、応募者には、事前に店主マニュアルをお渡しし、お堀の公園に 35 店が出店し、金銭授受が想定される場を市が作ることにについては、特に議論にはならなかったとのことでした。

本市においては、事業の継続性や金銭授受等の観点から、民間の団体等が運営主体となることが望ましいと考えております。また、運営手法については、前述の店主マニュアルに屋号や値付け、スケジュール、売上集計報告などの記載があり、ノウハウを活かすことができると考えております。

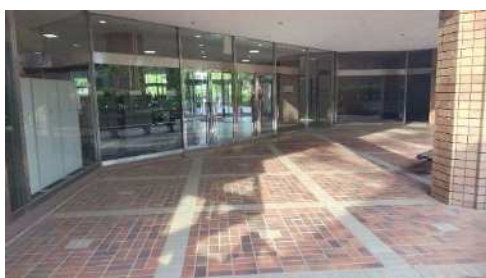
今後の検討課題としては、引き続き運営主体の決定及び直営の場合の金銭授受の可否があります。

その後の検討の中で、中庭スペースの有効活用については、市民館事業として初の試みであると想定されるから、まずは運営主体を市(市民館)としてノウハウを蓄積し、事業目的がもっぱらの営利目的ではないことから、金銭授受については可能として整理を行った。その結果、麻生市民館専門部会における市民館の利用促進に向けた「中庭スペースの有効活用事業」として、一箱古本市を開催することとした。

(2) 令和 5 年度専門部会

① 令和 5 年度第 1 回

一箱古本市の開催にあたり、委員の御意見を踏まえながら、具体的な実施内容を整理した。「あさお一箱古本市」の名称で開催するとともに、実施日時は令和 5 年 9 月 16 日(土)10 時～15 時とし、多くの集客を見込めることから、子育てフェスタと同日開催とした。場所は麻生文化センター(麻生市民館 2 階)中庭スペース(下記)とし、募集数・応募資格は 15 店舗、麻生区在住・在勤・在学の 18 才



以上の個人・団体(古本販売を事業としてない)、出店料は無料にする方向とした。

今後の対応としては、店舗配置・出店スペースの計測、必要スタッフ数の算出、店主向けマニュアルの作成、今後の作業スケジュールを示した。

②令和5年度第2回

実施・準備・評価という観点から、事前説明会にて配布する店主マニュアルの項目(案)及び出店者向けアンケート項目(案)(以下)を示した。

○店主マニュアル項目(案)

準備物	項目
古本、テーブル・いす、本を入れる箱、店名の看板・POP類・飾り、大きめのビニール袋、現金を入れるケース、釣り銭、筆記用具、電卓、店主マニュアルなど	(1)会場での出店場所について (2)本の冊数・箱・販売について (3)スリップについて (4)値付について (5)釣り銭について (6)前日の搬入希望について

タイムスケジュール	項目
9:00～ 事務局にて店主受付開始 (売上集計用紙・アンケート配付)	(1)雨天及び開催の可否について (2)駐車場について
10:00 販売開始	(3)受付について
14:30 撤収に向けての準備	(4)店番の仕事について
15:00 販売終了 (売上集計用紙・アンケート回収)	(5)トイレ・ごみについて (6)SNS 発信について
16:00 撤収完了	(7)撤収について

○出店者向けアンケート項目(案)

質問テーマ	項目
満足度	全体の満足度
参加動機、広報	参加理由、イベントを知った広報媒体
会場	出店エリア、ブースの大きさ・場所
交流	他の出店者、お客との交流
対応	サポート体制、スタッフの対応
その他意見	中庭スペースの他の活用法、意見など
売上	金額

以上の項目や、委員からの意見を踏まえ、出店者アンケート(案)にあわせ、お客さん向けアンケート(案)を作成することとした。

③令和5年度第3回及び第4回

第3回において、あさお一箱古本市の実施結果と令和4・5年度協議テーマに基づき、報告書(素案)及び第4回において報告書(案)を提示した。

【参考】学習フリースペース事業の実施について

1 検討経緯について(令和4年度第3回専門部会以後)

会議室の有効活用による事業実施にあたって、市民館においては貸館業務として会議室利用者や歳入の確保の観点も考慮する必要がある。また、夏の試行実施を想定すると、コロナ禍前である令和元年度6月～9月の第1～3会議室及び和室の空き状況を調べたところ、8月が最も高い結果となった。

ターゲットとしては、お盆連休の社会人、夏休みの学生、図書館の閲覧者(7、8月に満席となることが多い)などを想定し、実施を検討するならば、8月中の午前及び午後対象とし、週末に翌1週間分、開放会議室等の一覧をHP等に掲載する方向を想定する。ただ、課題として、他の月は概ね会議室利用率が高く、通年開放や他の期間に拡大する余地は乏しいと考えた。

一方で、令和元年度専門部会にて新設された交流スペースについては、限られたスペースの中で、特定の方による長時間の占有が見受けられ他の利用者から苦情もあったこと、またコロナ禍もあり閉鎖していた。

以上を踏まえ、会議室の活用ではなく、学習コーナー創出(実質的には交流スペースのリニューアル)という形式で、次のとおり実施した。

2 実施内容について

○目的：若年層への市民館の認知度向上、学習機会(場所)の確保

○主なターゲット：中高生、大学生(学生の利用が無い時は、一般利用可)

○開設期間：令和5年7月12日～9月30日

※利用実態を踏まえ、学習コーナーとして当分の間継続する。

○実施場所：市民館3階スペース(計6席)



2 あさお一箱古本市の概要

(1) 一箱古本市とは

読み終わった本、誰かにおススメしたい本を段ボール等の一箱につめ、1日だけの本屋さんになってフリーマーケット形式で販売するイベントである。お客さんや店主さん同士で会話を楽しみながら、人や本との出会い、つながりを作ることを目的としている。

2005年から東京の谷中・根津・千駄木で行われている「不忍ブックストリートの一箱古本市」で初めて開催され、書店や個人出店者が一堂に集まり、多種多様な古本の販売と交流を通じて地域の文化を豊かにすることを目指している。

一箱古本市は、地域の本と人を結ぶイベントとして、全国各地で毎年開催され、2023年は全国各地で累計150回ほど開催・予定である。

(2) 広報・出店者募集について

一箱古本市については、市内初開催であることが想定され、まずは認知度の向上が課題であった。

そこで、出店者募集にあたり、通常の市民館講座の広報の主軸である市民館HP・チラシ配架に加え、SNSや各メディア、専門部会委員の所属団体、その他図書館関係団体、区内で活動されている方等へ幅広く広報を展開した。メディア掲載実績については、タウンニュース麻生区版(2023.8.4)、マイタウン(2023.8.14HPのみ掲載)、東京新聞(2023.8.25朝刊)の記事でも取り上げられた。出店者については、区内を中心に11組の応募があった。

(3) 事前説明会の実施について

一箱古本市開催にあたり、出店経験に乏しい出店者の応募が想定され、開催イメージを掴んでもらうとともに、出店者向けの共通ルールを理解してもらうことが重要であった(出店経験者は1組)。

事前説明会には9組にご参加いただき、みなまき一箱古本市(講師：みなまき一箱古本市実行委員会助っ人・どんぐりの輪代表 迫 祐子氏)による講話、店主マニュアルの説明や、開催場所の下見を行った。

なお、出店者からの質問としては、箱は必ず必要か・平置き販売は可能かなど一箱古本市のルールに関わるもの、無料譲渡会であるという誤認識、スリップ(値札)挟み込み・事前搬入・備品持込み費用の有無、ベンチの使用の可否など、幅広い質問をいただき、できる限り柔軟な対応を行った。



3 あさお一箱古本市実施結果・考察

(1) 当日の開催状況について

開催当日の9月16日(土)は9時から受付を開始し、10時から販売を開始した。9組と麻生図書館(リユース本配布)が出店し、天候は曇りであったが、日中は気温が30度近くになることが想定されたことから、開始時間前に「当日の流れ」と「水分補給の徹底」を出店者に伝えた。なお、中庭スペースの入口付近には、販売開始を待つお客さんが複数名並んでいた。

中庭スペースについては、麻生文化センター入口の延長線上にあり、ガラス越しに様子が見えるため、多くのお客さんが流れて来た。同日開催の子育てフェスタの影響もあり、午前中は特に親子連れを中心に賑わい、午後は客足が落ち着いてきた。

絵本・小説・マンガなど、幅広いジャンルの本が出店され、お客さんと店主だけではなく、店主同士が会話をしている様子も見受けられた。なお、開催の様子については、タウンニュース麻生区版(2023.9.22)でも取り上げられた。



(2) 出店者のアンケート結果(出店者9組)

問1 本イベントに参加された理由について教えてください(複数回答可)

	1. 一箱古本市に興味があった	2. イベントを知り思い立った	3. 自分の持っている本を紹介したかった	4. 楽しそうな企画だった	5. 本の処分に困っていた	6. その他※	回答者数
回答数	3	3	1	5	5	1	9
構成率	33.3	33.3	11.1	55.6	55.6	11.1	

※本愛好家の友人とこの企画について話し合いができたこと。発展させるつながりのもとになった。「楽しそうな企画だった」、「本の処分に困っていた」がそれぞれ55.6%となった。

問2 出店場所(中庭スペース)について教えてください。

	1. 満足※1	2. どちらでもない※2	3. 不満足	計
回答数	5	3	0	8
構成率	62.5	37.5	0.0	100.1
上記の理由※	※1 空きスペースの活用と雨が降っても大丈夫。	※2 ・途中、陽射しが強かった(場所が端だった所以かもしれません)。 ・入口からの地続きで入りやすい。蚊が多い。午後から日向だったので暑かった。 ・暑いので中のスペースだと嬉しかった。お客様も暑いのでゆっくり足を止めてくれないので、中がいいです。		

※(「上記の理由」のみ回答者)子育てフェスタと一緒にだったから、この場所も良かった。「満足」が62.5%、「どちらでもない」が37.5%となった。

問3 出店ブース(1.5m×1.5m)の大きさについて教えてください。

	1. 狭かった	2. 妥当である	3. 広がった	計
回答数	0	9	0	9
構成率	0.0	100.0	0.0	100.0

「妥当である」が100.0%となった。

問4 他の出店者との交流について教えてください。

	1. ととてもできた	2. ある程度できた	3. あまりできなかった	4. ほとんどできなかった	計
回答数	0	7	2	0	9
構成率	0.0	77.8	22.2	0.0	100.0

「ある程度できた」が77.8%、「あまりできなかった」が22.2%となった。

問5 お客さんとの交流について教えてください。

	1. ととてもできた	2. ある程度できた	3. あまりできなかった	4. ほとんどできなかった	計
回答数	3	6	0	0	9
構成率	33.3	66.7	0.0	0.0	100.0

「とてもできた」、「ある程度できた」が100%となった。

問6 一箱古本市をまたやってみたいと思いますか？

	1. やってみたい※	2. やりたくない	3. わからない	計
回答数	7	0	1	8
構成率	87.5	0.0	12.5	100.0
(上記の理由)	※ ・本当に処分に困っていた(本なので捨てるのができず)のでよかったです。 ・本に関わる活動が好きなので。 ・今回は絵本。次回は児童書がたくさんある。			

「やってみたい」が87.5%、「わからない」が12.5%となった。

*各設問に個別に回答しているため、回答者数が一致していない。

*複数回答や小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成率の合計が100%にならない場合がある。

問7 今回の一箱古本市のほかに、中庭スペースの活用についてアイデアがあれば、教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> 子ども遊びの会、科学実験(あそび)の会(水を使ってよさそう)など とてもちょうどいいスペースです。JAZZセッション会などどうでしょうか?ホスト(各パートのミュージシャンは確定でいて、飛び入りで参加したい方がそのパートを演奏できる形態をセッションといいます)のミュージシャンを共に見に来た人が演奏したり、歌ったりします。見ている人も楽しく、演奏したい人も楽しい。イベント前出の告知で参加する人はやりたい曲の譜面を各自5枚ほど用意していただく必要がありますが、演奏したい人はほぼこのルールを知っています。 子どものおもちゃ、衣料等
--

(3) お客さんのアンケート結果

問1 どちらから参加されましたか

	麻生区	麻生区以外の川崎市	町田市・稲城市・多摩市・横浜市	その他	計
回答数	45	5	7	0	57
構成率	78.9	8.8	12.3	0.0	100.0

「麻生区在住」が78.9%と大半を占め、町田市等の隣接する市からの参加者が12.3%となっている。

問2 あさお一箱古本市に来た動機を教えてください

	たまたま（子育てフェスタに来て）	たまたま（子育てフェスタ以外で来て）	一箱古本市に興味があった	古本に興味があった	計
回答数	26	1	25	5	57
構成率	45.6	1.8	43.9	8.8	100.1

「たまたま（子育てフェスタに来て）」が45.6%と最も多かったが、一箱古本市に興味があったが43.9%とほぼ同じ結果となっている。

問3 麻生市民館に何回来たことがありますか

	はじめて	1～2回	3～5回	6回以上	計
回答数	3	4	4	43	54
構成率	5.6	7.4	7.4	79.6	100.0

「6回以上」が79.6%と大半を占め、「はじめて」は5.6%と最も少なくなっています

問4 このイベントに参加し、市民館の講座やイベントに関心を持ちましたか

	はい	いいえ	計
回答数	47	1	48
構成率	97.9	2.1	100.0

「はい」が97.9%となっている。

※各設問に個別に回答しているため、回答者数が一致していない。

※小数点以下第2位を四捨五入しているため、構成率の合計が100%にならない場合がある。

【自由意見（中庭スペースの有効利用・開催してほしいイベントについて）】

- ・もう1回古本市をしてほしい。次は出たい。
- ・生音楽演奏（ギター・オカリナ）
- ・古本市にはピッタリ
- ・ブックカフェ
- ・中庭スペース。ゆったりして素てきです。一箱古本市よいです。ぜひ継続を。
- ・スケッチ大会



(4) 考察

今回、「市民館の利用促進」に向けた「中庭スペースの有効活用事業」として、一箱古本市を開催した。具体的な目的としては、コミュニケーション・つながりづくり、空きスペースの有効活用、麻生市民館事業の周知・情報提供としたが、アンケートの実施結果も踏まえながら、それぞれについて考察する

① コミュニケーション・つながりづくり

当日の様子を見ると、お客さんと店主だけではなく、店主同士が会話をする様子も見受けられた。

前述の出店者のアンケート結果からも、お客さんとの交流は「とてもできた」「ある程度できた」が100%、他の出店者と交流は「ある程度できた」が8割弱となった。また、一箱古本市を「またやってみたい」は9割弱となった。

本が媒介となって会話の糸口となり、一箱古本市独特のゆったりとした雰囲気も相まって、コミュニケーション・つながりづくりの視点から一定の成果があった。



② 空きスペースの有効活用

中庭スペースについては、普段、図書館開館前の閲覧席希望者の列や、ベンチに座っている方を時折見かける程度である。

本スペースは、屋根があり、ガラス張りで通りがかりの図書館利用者等の視界にも入る特徴がある。その特性を踏まえると、スペースを全般的に使用する一箱古本市に向いており、有効活用につなげることができた。

③ 麻生市民館事業の周知・情報提供

お客さんのアンケート回答数は57にのぼり、実際はその数以上の方が一箱古本市を訪れた。会場入口付近には、開催チラシのほか、市民館関連資料も配置した。ただ、麻生市民館に「はじめて」来た方は6%弱で、新規利用者獲得に課題を残した。一方で、一箱古本市に参加し、市民館の講座やイベントに興味を持った方が98%となった。

一箱古本市開催は、おおむね市民館の利用促進のきっかけになったと考えられる。



【当日の天候】

- ・薄曇りで、風はあまりなく、暑かったですが、なんとか凌げる程度でした。
- ・暑さ対策は出店者さんがそれぞれ工夫されていました。小型扇風機を持参した方もいました。
- ・午後からは出店場所①(写真一番奥)のあたりが直射日光があたって暑そうでしたが、少し場所をずれて避けていました。



【会場設営】

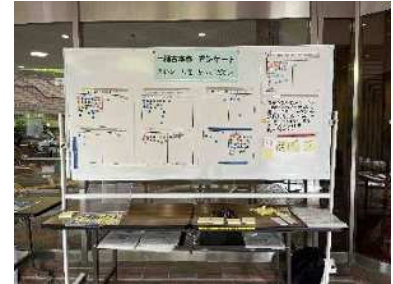
- ・出店者さんはそれぞれスムーズに出店場所に着き、準備をされていた印象です。
- ・図書館開館前の席を取る方の列への対応も、出店者にはあらかじめ伝えられていたので、出店準備には問題無い様子でしたが、列に並ぶ方が若干戸惑っていたようです。

【出店者の様子】

- ・店舗数も多くなく、説明会ですでに顔を合わせていたせいか、準備の段階から出店者さん同士が、挨拶を交わしたり、手伝ったりしながら、とても和やかな様子でした。
- ・店舗のレイアウトや本の展示の仕方などは、皆さんそれぞれ工夫されていて、眺めるだけでもとても楽しめました。
- ・出店者さんが他の店舗を訪れて、本の話が弾んだり、購入したりする様子も多く見られました。
- ・各店舗に並ぶ本のジャンルが、他店とあまり重複していなかったのが、良かったと思いました。

【アンケート】

- ・ボードを見ると、シールを貼るだけで回答できる、ということがすぐ分かるので、声をかけてお願いするとほとんどの方が快く引き受けてくれました。
- ・質問の内容も簡単でわかりやすかったので、回答しやすかったと思います。
- ・ご協力のお礼ということで、しおりとクリアファイルをお渡しできたのも良かったと思います。



【その他】

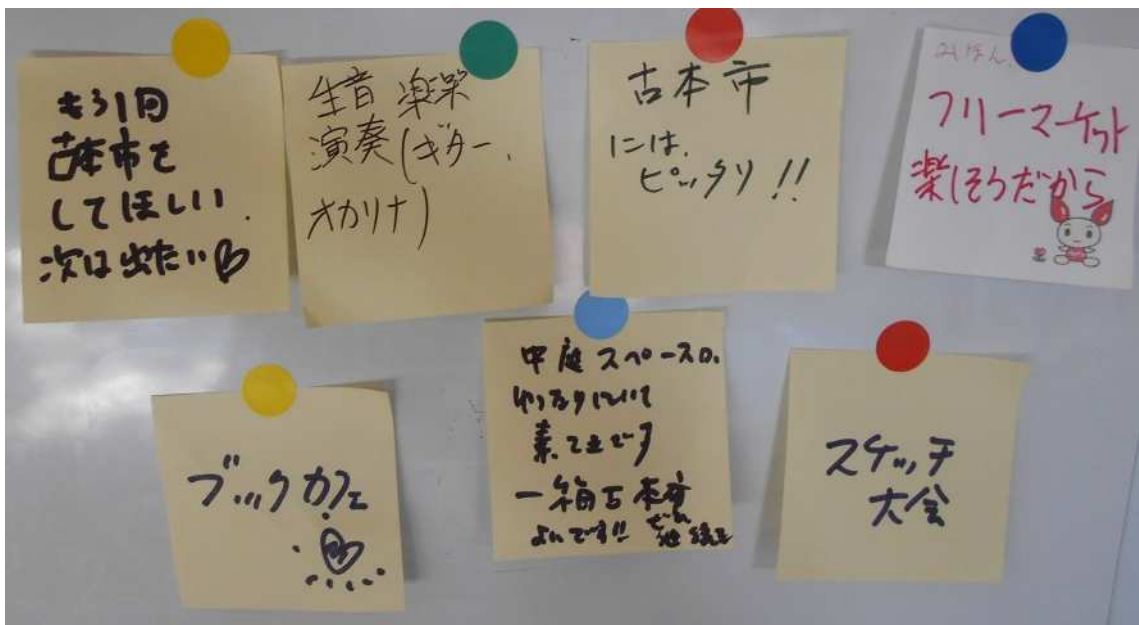
- ・事前の説明会で丁寧に説明され、資料にも詳しく記載されていたので、当日は出店者さんにおまかせの部分も多く、あまり主催者が細かく管理しないことで、おおらかな雰囲気を作れたのかなと思いました。
- ・「職員の方たちが、準備からずっと親身になって対応し、会場でもずっと見守ってくれ、この場を良いものにしよう思っていることが伝わり、良かった。」と仰る出店者さんがいらっしゃいました。
- ・来場した方から、「ぜひ今後も続けて開催してほしい。」「機会があれば自分も出店したい。」というご意見を複数伺いました。
- ・今回利用した中庭スペースが、「古本市」という催しにととても向いているように思いました。子育てフェスタとの同時開催というのも、良い効果があったと思います。

4 今後の展開について

前述のとおり、市民館の利用促進に向けた「中庭スペースの有効活用事業」として、一箱古本市を開催し、コミュニケーション・つながりづくり、空きスペースの有効活用、麻生市民館事業の周知・情報提供について、一定の成果があった。

開催前から一箱古本市の認知度について、懸念をしていた。しかしながら、お客さん向けアンケートから、あさお一箱古本市に来た動機について、「たまたま」と「一箱古本市に興味」がほぼ同数であった。また、一箱古本市に出店したかった、今後出店したいなどの声や問い合わせも受けた。ただ、子育てフェスタと同日開催ということで、多くの集客につながったと考えられ、「一箱古本市」の単独開催については、慎重な検討が必要である。

一方で、中庭スペースで今後開催してほしいイベント等について、古本市のほか、音楽活動、ブックカフェ、スケッチ大会のご意見があった。中庭スペースは住宅地が隣接しているため、音楽活動等の音が発生する事業は困難と考えられるが、ご意見も踏まえながら、中庭スペースの有効活用を今後も検討し、施設の有効活用、ひいては市民館の利用促進につなげたい。



令和4・5年度川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会委員名簿

	氏名	現職名	区分
1	山本 浩之	川崎市立王禅寺中央中学校長	1号 (区内に設置された学校の長)
2	副部長 横川 博行	麻生区文化協会(副会長)	2号 (区内の社会教育関係団体等から推薦された者)
3	部長 井上 俊夫	麻生区地域教育会議議長	
4	菅原 陽子	麻生市民館サークル連絡会会長	
5	まつしま ただゆき 松島 糾之	麻生区町会連合会理事	
6	徳田 富美恵	市民委員	3号 (区内在住の社会教育に関する経験を有する市民)
7	三上 由香利 (令和4年度) 田澤 梓 (令和5年度)	市民委員	
8	角田 季美枝	和光大学現代人間学部非常勤講師	4号 (学識経験者)
9	田澤 梓 (令和4年度) 角南 ゆり絵 (令和5年度)	麻生区PTA協議会副会長	5号 (区内の家庭教育の向上に資する活動を行う者)

* 区分欄は、川崎市社会教育委員条例第6条別表に定める委員の構成

令和4・5年度 川崎市社会教育委員会議麻生市民館専門部会実施経過

○令和4年度実施経過

第1回専門部会

日 時 令和4年 8月18日(木) 午後2時～午後4時30分

場 所 麻生市民館 第1会議室

概 要

- ・部会長・副部会長選出
- ・市民館・図書館の管理運営の考え方(案)について報告
- ・令和2・3年度麻生市民館専門部会報告書について
- ・令和3年度利用状況及び事業報告について
- ・令和4年度の主な事業について
- ・令和4・5年度協議テーマの選定について

第2回専門部会

日 時 令和5年 1月24日(火) 午前10時～午前11時50分

場 所 麻生区役所 第4会議室

概 要

- ・令和4年度の主な事業について
- ・令和4年度市民館管理に伴う工事等について
- ・令和4・5年度協議テーマの選定について
テーマ候補として、空き会議室の有効活用、麻生文化センター中庭スペースの有効活用について検討した。

第3回専門部会

日 時 令和5年 2月12日(日) 午後1時～午後5時

場 所 麻生市民館 大会議室・第1会議室

概 要

- ・市民自主学級・市民自主企画事業 提案会 選考会
- ・令和4・5年度協議テーマの選定について
 - 空き会議室の有効活用について
 - ⇒令和元年・4年の会議室空き状況(6月から9月)確認で空きコマが少ない。
 - ⇒空き確定が3日前では利用案内が難しく、発展性が低い。
 - 麻生文化センター中庭スペースの有効活用について
 - ⇒利用者増を考えるとフリーマーケットのようなイメージ

○市民館への指定管理者制度導入について

⇒指定管理者制度について理解することが必要である。

* テーマは市「民館の利用促進に向けた取り組み」として、麻生文化センター中庭スペースの有効活用についてとする。

なお、指定管理者制度については勉強会等について考えていく。

○令和5年度実施経過

第1回専門部会

日 時 令和5年 5月17日(水) 午後2時～午後4時30分

場 所 麻生市民館 第1会議室

概 要

- ・令和5年度の主な事業について
- ・テーマ「市民館の利用促進に向けた取り組み」について

○夏休み学習スペースの開設(事務局報告)

若年層への市民館認知度向上、学習機会(場所)の確保策として、市民館3階通路(チラシ等配布エリア)に学習用として6席(机・椅子)を設ける。

○麻生文化センター中庭スペースの有効活用について

* 「あさお一箱古本市」を9月16日(土)の「子育てフェスタ」開催日に実施する。来場者及び出店者に簡易なアンケートを行う。

- ・指定管理者制度について

4月に勉強会を2回開催して意見交換等を実施した。6月の麻生市民館サークル祭等において利用者アンケートを計画している。

第2回専門部会

日 時 令和5年 8月 2日(水) 午前10時～正午

場 所 麻生市民館 第3会議室

概 要

- ・令和5年度の主な事業・工事の進捗状況について
- ・テーマ「市民館の利用促進に向けた取り組み」について
- 「あさお一箱古本市」の実施、準備、評価について
- ・専門部会勉強会「指定管理者制度について」報告

市民館・図書館の利用者アンケート(回答数300)実施結果について情報共有、意見交換を行った。

第3回専門部会

日 時 令和5年10月12日(木) 午前10時～

場 所 麻生区役所 第4会議室

概 要

- ・令和5年度の主な事業・工事の進捗状況について
- ・「あさお一箱古本市」の実施結果について
- ・令和4・5年度報告書の作成について

第4回専門部会

日 時 令和6年 2月17日(日) 午後1時～

場 所 麻生市民館 大会議室・第1会議室

概 要

- ・市民自主学級・市民自主企画事業 提案会 選考会
- ・令和5年度の主な事業・工事の進捗状況について
- ・令和4・5年度報告書の作成について

麻生市民館専門部会勉強会の議事要約

日 時：2023年4月10日（月）14：00～16：45

場 所：麻生市民館第2会議室

出席者：井上俊夫、菅原陽子、徳田富美恵、田澤梓、角南ゆり絵、角田季美枝（以上、麻生市民館専門部会）、堀川万記子、岡本正子（以上、川崎の図書館ともの会）、石井よし子（里山フォーラム in 麻生）

文 責：角田季美枝

★今回のまとめ★

- ・専門部会勉強会としての立ち位置を（指定管理者制度導入に対する立ち位置）確認ないし共有して、勉強会の成果をまとめて届ける
- ・欠席された方の意見や、今回出していないけれど追加して言いたい意見などを次回に共有して分類してまとめにつなげる

【意見交換などのポイント】

1 開会あいさつ

- ・井上さんから、指定管理者制度をネットで調べてみたら、課題がいっぱいあがっていた
- ・角田から、（専門部会でない方への）勉強会の位置づけになった経緯について説明した

2 堀川さん話題提供

- ・誤字など資料の訂正（※角田補足：訂正箇所は以下）
 - 1 ページめ下から5行目（1946（S21））の「図書館精度改革に関する委員会報告」を「図書館制度改革に関する委員会報告」に訂正
 - 1 ページめ最終行および2 ページめ1行目（1950（S25））が内容重複のため削除
 - 3 ページめ8行目（2016（H8））の川崎市社会教育委員会議の後の「と書簡」を「図書館」に訂正
- ・川崎市の図書館の戦後初期は、公民館に図書室設置の動きがあった（文部次官通牒の関係）（角田補足：公民館構想に図書室も含まれており、国立市公民館には図書室があり、図書館とつながっている。岡上分館にも図書室はあるが、図書館とつながっていないが、岡上小学校の図書を借りることができるようになっている；小学校の地域開放の関係か？）
- ・市民が声を上げて各区に1館図書館がつくられたが、中央図書館構想は実現していない（なくなった）
- ・この間の指定管理者制度導入で「ともの会」がしてきた面談や陳情活動について、ともの会のニューズレターの内容を補足説明してもらった（岡本さんにも）★別途お届けした、「ともの会」ニューズレターに経緯など詳細な説明があるので、読んでください。

・「市民に丁寧な説明をした」といっているが、どうか。少なくとも指定管理についての市民の意見徴集は「中間とりまとめ」以降（※角田追記：パブコメ結果や教育委員会議で配布されている会議資料で見ると、ほとんどの意見は「指定管理者制度導入に不安」ないしは「指定管理者制度導入反対」⇒教育委員会は「地域の図書館団体の方が同じ意見を出しているようだ」と、特定の市民の意見であるかの印象をもたせるような説明)

3 石井さん話題提供

- ・本日の勉強会参加者の「市民館で楽しかったこと」を共有
- ・「あり方」「管理の考え方」の文面からなぜ指定管理者制度導入が出てくるのか？
- ・市民の活動が各施策の横指しをしてきたのではなかったのか（当日配布された、里山フォーラム in 麻生の 2022 年度報告書参照）
- ・社会教育委員の生涯学習のパンフレット案についての作成経緯や意見交換をした
- ・岡本さん、角田から社会教育委員会議での指定管理者制度導入の協議状況について、補足的に紹介した
- ・市民館職員（特に管理部門）の数がどんどん減っていて過剰労働になっている
- ・市民館・分館職員が意見をいえない状況では

4 その他

- ・角田のレジュメについては質疑応答、意見交換が活発なので、割愛した（別紙の、出た意見も参照のこと）
- ・ただし、川崎市の市民館・図書館の指定管理導入はさかのぼれば（角田が調べた範囲では）、2003 年まで遡ることができるという点のみ共有した（※角田追記：国の行革の影響かどうかわからないが、阿部孝夫市長以降）
- ・以降、「民間活力」導入の流れに対して職員と市民ががんばってきたのでは？（いまや社会教育について熱心な職員も少なくなり、市民館の存在すら知らない市民が多くなってしまった）

5 さらなる意見交換など

（1）出た意見、感想など

- ・専門部会勉強会として、指定管理者制度および麻生区の市民館・図書館に指定管理者制度が導入されるにあたっての質問や意見をまとめる
 - ・いままで専門部会が議論して積み上げてきたことはどうなるのか？
 - ・市民提案事業など廃止ないし縮小する事業はあるのか？
 - ・専門部会がなくなるにせよ、市民と行政、指定管理の事業者が定期的に運営について意見交換する場を設けてほしい
 - ・どこにどのように届けるのか（区長？館長？；要望書、質問状、対面での意見交換？？）
 - ・市民館・図書館の利用者に状況を知らせて意見を聞くことをしてほしい
- ⇒多出のため、付箋に書いて発表することとした（別紙参照）

(2) まとめ

- ・ 専門部会勉強会として、指定管理者制度および麻生区の市民館・図書館に指定管理者制度が導入されるにあたっての質問や意見をまとめる

5 次回について

- ・ 欠席された部会委員の方の意見も含めて、出た意見や感想などの分類をして、勉強会の成果のまとめを検討する
- ・ 欠席された部会委員の方には本日資料を郵送で届けてもらう際に、次回の日程を伝える
- ・ 欠席された部会委員の方には井上さんから連絡する
- ・ 石井さん、堀川さん、岡本さんには次回も参加して意見を聞く
- ・ 角田の知見不足もあり、学識委員前任者の岩本先生のご参加も呼び掛けてみる
- ・ 欠席された方の委員の意見を聞くことをするために、それ以上の方の参加は、次回はやめる

以上

麻生市民館専門部会勉強会の議事要約

日 時：2023年4月28日（月）14：00～16：45

場 所：麻生市民館第2会議室

出席者：井上俊夫、菅原陽子、徳田富美恵、田澤梓、角南ゆり絵、角田季美枝（以上、麻生市民館専門部会；ただし角田は鶴川駅での事故のため1時間ほど遅刻）、堀川万記子、岡本正子（以上、川崎の図書館との会）

文 責：角田季美枝

★今回のまとめ★

- ・今まで出た意見や疑問などを、「緊急性」と「重要性」で分類をした。
- ・6月1～7日のサークル祭の参加者や部会委員の所属団体の関係者に、指定管理者制度導入についてのアンケートを実施したい。

【意見交換などのポイント】

1 追加の意見・疑問

4月10日以降、追加として出したい意見や疑問などを自由に言い合った。出た意見・疑問など主なものは以下のとおり。

- ・専門部会は以前は意見を出して、市民館の活動の改善提案をしていたが、現在は意見を出しても素通りしている印象がある。
- ・もともとは市民が気になる課題を持ち寄って勉強して自分の街のことを考えていこうというのが社会教育の目的であったが、現在は地域のためというよりはサークル活動の貸し館業務になっているのではないか。
- ・「市民館・図書館の管理・運営の考え方」を読むと、時代の移り変わり、市民意識の変化、職員のマンパワー、講座参加者数の変化などいろいろ書かれていて、それを行政がどう深く考えて提案しているのかわかる。それに呼応するような形で意見を届けることが大事ではないか。
- ・隣近所よりネットで専門家に直接つながることができてしまう環境で育てられている。地域で活動している団体に入っている人は多いが、つながっていない。つながろうとしていない人も多い。
- ・市民館の活動について多くの市民は知らないと思う。地域の課題への関心は優先順位が低い。自分の家族もそうだ。関心のない市民に対して行政は活動しているが、それが市民に届いていない。
- ・指定管理者制度を導入して質が下がった施設もあると聞いている。制度の中で市民館・図書館に関して市民が求めているものと遊離していないか、市民館の人と話し合いながら提案できたらいいのではないか。すぐにできること、2、3年後にはできる、余裕がきたら

できるなどにわ分けて話をしていくことがいいのでは？

2 今まで出た意見の分類

- ・「緊急性」「重要性」の2項目で分類した（別掲）。
- ・すぐにできることとして何があるのか検討して、6月上旬のサークル祭に来た方にアンケートしてみてはということとなった。
- ・サークル祭に来る人だけではなく、部会委員が所属する団体の方にも聞いてみたらいいのではないか。
- ・アンケートによって、市民館・図書館に指定管理者制度導入されることを知らせることになるし、一人でも多くの方に関心をもってもらいたい。
（現在、アンケート案検討中）

3 次回について

- ・欠席された部会委員もいるし、専門部会の定例会で勉強会の状況を報告して意見を聞く（報告は部会長の井上さんが行う）。
- ・勉強会の日程や内容については、定例会での検討後、決めることとする。
- ・勉強会の内容としては、指定管理者制度をすでに導入した施設の専門部会の方に講師をお願いする、麻生区以外の状況を知る（とくには図書館の関係で麻生区図書館を監督する多摩区の状況）など、意見が出た。

以上

麻生市民館専門部会勉強会の議事要約

日 時：2023年7月3日（月）10:15～12:00

場 所：麻生市民館第2会議室

出席者：井上俊夫（11:30で早退）、菅原陽子、徳田富美恵、田澤梓、角南ゆり絵、角田季美枝（以上、麻生市民館専門部会）、堀川万記子、岡本正子（以上、川崎の図書館ともの会）、

文 責：角田季美枝

★今回のまとめ★

- ・アンケートの中間集計を報告して、集計の仕方や回収の最終め切を決めた
- ・アンケート結果の公開について検討した
- ・「麻生区らしさ」について意見交換した

【意見交換などのポイント】

(1) アンケート中間集計、最終期限など

- ・紙媒体 203（有効回答のみ）、グーグルフォーム 45 の回答
- ・紙でもフォームでも「川崎市の市民館・図書館への指定管理者制度導入」や「指定管理者制度」を「知らない」が多数、市民への説明会が「必要と思う」が多数
- ・7月7日まで延期
- ・アンケートの回収箱を菅原さんが引き取る
- ・グーグルフォームの回答延期の呼びかけと閉鎖は田澤さんが行う
- ・紙とフォームのアンケートを合わせての集計を角田が行う
- ・専門部会の定例会の前に次回の勉強会を開催して、最終集計結果を検討する

(2) アンケート集計結果の公開について

- ・8月2日の専門部会開催前の公開（7月30日の集会など）はとくに問題ない
- ・協力してくれたところには戻す
- ・市民館での掲示がいいのでは
- ・一箱古本市など人が集まるようなイベントの時に見てもらえるようにする
- ・社会教育委員会議、生涯学習交流会などでも紹介できないか

(3) 「麻生区らしさ」についての意見交換など

- ・地域教育会議での意見は川崎区と麻生区とは異なる
- ・専門部会と以前の運営審議協議会では市民の意見の取り上げ方が異なっている
- ・社会教育委員会議も市民の意見を聞かないようになっている

- ・麻生区の社会教育施設はどうなってほしいの？どんな麻生区になってほしい？という会ができたらいい
- ・地域にねぞす活動をしている団体の方に話を聞くといいのでは
- ・市民館や図書館で市民の意見を聞く場（結論を出す場でなくてもいい）がほしい。いろいろな意見を持っている人がいるということ共有することが大事では
- ・意見を言っても長年変わっていないという現実もある

(4)その他の参考情報

- ・7月8日に社会教育を考える川崎の会が、武田若子さんから蔵敷生活学校&菅生分館建設運動のお話を伺う会（川崎の宝でもある社会教育運動の歴史を学ぶ）を開催@高津市民館 14:00～
- ・7月30日に社会教育を考える川崎の会が、「図書館市民館 指定管理者制度ってなあに？」で川崎市教育委員会生涯学習推進課課長を読んで説明会を行う@高津市民館 14:00～
- ・8月9日に川崎の文化と図書館を発展させる会が緊急集会「指定管理にしちゃっていいの？」を行う@高津市民館 14:00～

(5)次回について

- ・7月28日（金）13:00～実習室
- ・アンケート最終結果の検討
- ・勉強会の今後
- ・その他

以上

麻生市民館専門部会勉強会の議事要約

日 時：2023年7月28日（金）13：00～14：45

場 所：麻生市民館実習室

出席者：菅原陽子、徳田富美恵、田澤梓、角田季美枝（以上、麻生市民館専門部会）、堀川万記子、岡本正子（以上、川崎の図書館ともの会）

文 責：角田季美枝

★今回のまとめ★

（1）専門部会として今回のアンケート結果を、市民館への掲示などで公表したい

（2）今後の勉強会の方向性では以下の3つの意見が出た（結論出さず）

①アンケート公表で終わりにする

②今年度さらに勉強会をやれるなら、すでに指定管理者制度が導入されたところの話を聞くことをしたい

③勉強会で説明会を実施する（専門部会メンバー限定）

（3）「麻生区らしい市民館」とは、については、

①過去の歴史を学んで、まちづくりについて考える市民を増やすような学習の場であってほしい

②指定定管理者制度が導入されても、市民と行政がともに学ぶ場としての市民館であってほしい

【意見交換などのポイント】

（1）アンケート集計結果、公表について

①集計結果について（別掲資料参照）

- ・紙媒体、グーグルフォーム併せて300の回答
- ・回答者の7割強は麻生区民、市民館のほうが図書館より麻生区民以外の方の利用がある
- ・市民館・図書館に利用者として意見を述べたいは「わからない」が最も多い。紙媒体の方では余白に意見が書いてあったので、参考にすべて掲載した
- ・川崎市の市民館・図書館への指定管理者制度導入、指定管理者制度そのものも「知らない」が7割強
- ・市民館、図書館への指定管理者制度導入の留意点は、「社会教育としての公平性、公共性」「利用の快適さ」「市民の声を反映できるシステムづくり」が共通して多かった
- ・市民への説明会の必要性は「必要」が7割強と圧倒的に多く、余白に意見も書かれていた

②公表について

- ・回答に協力してくれた方や団体に概要（グラフとポイントのみ）を戻す⇒市民館に掲示、メールで戻す（詳細を知りたい場合は、問い合わせてもらってデータとして送るようになる）
- ・回答に協力してくれた図書館関係の方に⇒「ともの会」ニュースレターに簡単に結果を紹介する原稿を掲載してもらう
- ・集計結果+グラフ+ポイントについては、社会教育委員会議長あてに届けて、社会教育委員会委員全員に見てもらいたい
- ・市民館・図書館への指定管理者制度導入を考える会合に参加できる場合は、口頭で結果を参加者に伝えたい
- ・麻生市民館専門部会の活動報告書に資料として集計結果などを掲載したい
- ・それ以外については話し合っていないが、集会参加や原稿掲載、資料提供、取材などの要望がある場合はどうしたらいいか？

(2)今後の勉強会について

勉強会開催の目的

- ①指定管理者制度について学びたい
- ②指定管理者制度が導入されても麻生区らしい市民館にするための要望をまとめた

1) 今後の勉強会について

今回の勉強会では以下の3つの意見が出た（結論は出していない）。

① アンケート集計結果・公表で勉強会を終わりにする

理由：今回のアンケート結果で、市民が社会教育や、指定管理者制度について具体的にイメージできていないことがわかった。指定管理者制度導入のあと、具体的に指定管理者制度導入について良かった点・悪い点などリアルに理解できてから、意見を聞いて、それを市民館に伝えたほうが良い

② 今年度さらに勉強会をやれるなら、すでに指定管理者制度が導入されたところの話を聞くことをしたい

理由：指定管理者制度が導入されたらどうなるのかについての理解はまだできていない。日本で導入されてから20年たっているのに、川崎市としてはすでに問題とされている点を出さないように導入するといっているが、具体的なイメージがわからない。川崎市ですでに長く指定管理者制度を導入している施設（アリーノ、いこいの家、ふれあい館など）の職員や関係者に話を聞きたい

③ 勉強会で説明会を実施する（専門部会メンバー限定）

理由：説明会を実施してほしいという意見が多いが、勉強会が専門部会のメンバーのためというなら、専門部会のメンバーが学ぶ場として、説明に来てもらうのがいいのでは。指定管理者制度導入前に専門部会をなくさない、市民館・図書館の利用者と行政、指定管理者が定期的集まるような利用者懇談会を設置する、など、伝えるべき意見を伝えるべき

では。

2) 麻生区らしい市民館とは

・麻生区が多摩区から分区されて、新百合ヶ丘など開発された経緯を聞いた。地権者が相続の関係で土地を売って緑がなくなっていった。今後、こんなまちになってほしい、という「まちづくり」に対する市民の意見を聞く場がほしい。現在もこども会議などいろいろ取組みはあるが、実際は、行政の縦割りで市民の意見が横ぐしできているのかわからない。

・麻生区らしいまちづくりについて、市民の意見を聞く場、関心を持つ市民を増やす場としての市民館であってほしい。

・指定管理者制度が導入されても、市民と行政がともに学ぶ場としての市民館であってほしい。

以上